

支笏湖オコタンペ山 (968m)

実施日：平成29年4月1日(土)

参加者：澤田リーダー以下男性7名、女性8名計15
行程：登山口発；9時05分、約600m付近小休止；9時35分、弱層テスト実施、表面下30cm弱層あり、レベル3、尾根終点850m付近；10時12分、前穂下；11時10分、オコタンペ山(968m)頂上；11時30分下山；11時37分、800m付近昼食(11時55分～12時35分)、尾根取り付け；13時12分休憩、登山口；13時35分。

6時30分幌別駅に12名が集合、車3台に分乗、登別で1名をピックアップ、苫小牧トライアルで1名が参加、一路登山口に向かう、支笏湖は波も穏やか、恵庭岳の雄姿がまぶしい。道道98号線の分岐登山口の駐車場は満車状態、100m下がった駐車場に何とか駐車する。北廣のNさんと待ち合わせ。登山支度を整え、スノーシューを持って登山口に向かう。



湿原渡渉ルートでA班を先頭に約40m下り、いく度かスノーブリッチを慎重に且つ素早くわたる。



急こう配を登り前峰につづく尾根に取り付く。



尾根終端に9時30分過ぎに到達、弱層テストを行う40cm角柱を掘り出し、スコップで上部を殴打、約30cm下に弱層があり、レベル3、注意して登る。前穂の下部トラバースは、一人ずつ速やかに渡る。

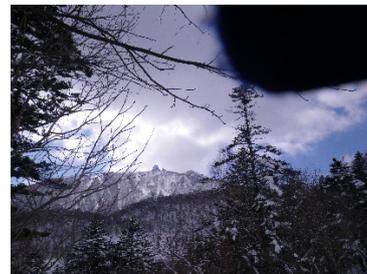


A班

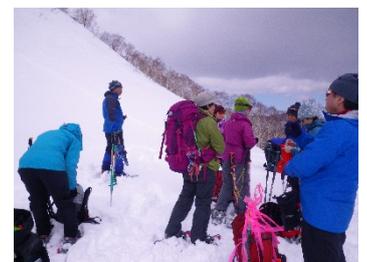
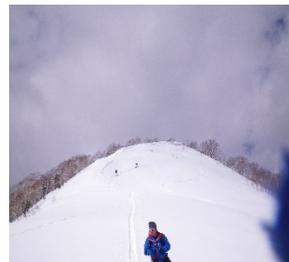
B班



左前方に雄々しく恵庭岳の雄峰が望めた。



11時15分、オコタンペ山の南東斜面が前方に姿を表す、雪庇が見える、若者先行者2名が登行。



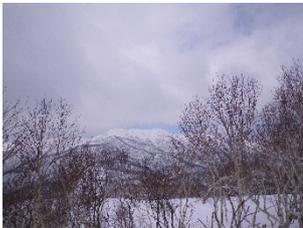
先行者の跡を辿り、南西側に回り込むと1つ箇所亀裂があり、慎重に登る。

11時30分オコタンペ山(968m)山頂に立つ。

ハイ“笑顔で登頂おめでとう”



頂上から凍結したオコタンペ湖、恵庭岳、支笏湖の一部、漁岳等が望見され、しばし見とれる。



11時37分下山、慎重に足を運ぶ。

800m付近の比較的平らな箇所につェルトを張り、

11時55分頃より40分間の昼食を摂る。

下りは順調だ、油断して自分のスノーシューを踏みつけ転ぶ、その後、足を開き気味に歩行の為少し疲れる。尾根取り付けに13時12分頃到着、小休止。湿原のスノーブリッチは皆さん慎重に素早くわたる。最後の登りはきつかった。13時35分登山口に到着。



お疲れさんでした。

北広のNさんとお別れし、苫小牧の新しい白樺の湯に入浴、疲れを癒した。トライアルで解散、夫々帰途に就く、十数年振りの登頂でリーダー以下仲間に感謝します。

記：iK